

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 あいあい新静岡校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		○広い部屋2つ、狭い部屋2つの体制で療育を行っています。
	②	職員の配置数は適切である	6	0		○定員が10名で、児童指導員等加配加算と専門的支援加算をとるので、毎日4名以上の指導員が配置されるようになっています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1		○エレベーターは設置されているが、トイレはバリアフリーになっていない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・支援終了後には毎回アルコール消毒を行うようにしています。	○とりわけ感染症が蔓延する季節には丁寧に消毒をするようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0		○児童発達支援では毎回担当スタッフが変わるのではなく、1名～2名の固定で考えています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		○毎月12月には事業所評価を実施し、結果を公開しています。 ○保護者様からのご意見を取り入れた業務改善をしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・過去5年分くらいの結果がホームページからみられるようになっています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		○第三者評価は行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・教室内の研修だけでなく、例えば静岡市発達障害者支援センターきらりの研修などにも参加しています。	○発達支援研究所のテーマ研修や事例検討にも参加しています。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・毎年4月にはアセスメントシートを配布し、お子さんの実態を正確に把握するよう努めています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		○毎年4月には会社が提示するアセスメントシートを

提 供					使ってお子さんの様子を把握するよう努めています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		○児童発達支援ガイドラインは新静岡校入り口のファイルに綴られており、いつでも誰でも見るができます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		○個別支援計画は保護者様と相談して作成し、6カ月毎に修正して常にお子さんの実態とマッチしたものになるよう努めています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・毎朝のMTでプログラムをどうするのか話し合いがされています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・お子さんの様子や保護者様からの情報をもとに、プログラムを柔軟に運用するよう努めています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0		○児童発達支援も人数が集まってくれば、小集団を取り入れることを考えています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・毎朝、MTの時間を設けています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		○毎朝、MTの時間を設けています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		○支援記録は毎月、記載漏れがないかチェックするようにしています。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		○モニタリングは6か月以内で行うようにしています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		○静岡市ではサービス担当者会議の開催は少ないですが、開催があった場合には可能な限り参加するようにしています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		○必要に応じて関係機関と連携することができます。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	・医療的ケアが必要な子どもの利用はなかったです。今後、必要な子どもの利用があれば連携をしていく。	

連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6		○今後、医療的ケアが必要な子どもが利用された場合には、連携することができます。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4		○連携が必要な場合はいつでも連携することができます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5		○連携が必要な場合はいつでも連携することができます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	・静岡市発達障害者支援センターきらりの研修を受けてきています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		○他機関の子どもと交流するイベントは今のところ考えておりません。
保護者への説明責任等	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0		○定期的で開催される葵区駿河区連絡会に参加しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		○フィードバックの時間を大切にしています。子どものよいあらわれを共有し、子どもを褒めるサイクルができるよう心がけています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	・ペアレントプログラムの講座の開催を呼び掛けてきました。	
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		○契約時に説明させていただいています。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		○児童発達支援ガイドラインは新静岡校の入り口にあるファイルに綴られています。いつでも誰でも見ることができます。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		○事業所内相談の時間があることを周知するとともに、場合によってはこちらから相談の時間を設定するようにしています。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	・10月に保護者会「今のうちから就労を考える」を開催しました。	○その他、テーマを替えながら引き続き保護者会の開催を予定しています。
保護者への説明責任等	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	6	0		○事業所内相談の時間を設けています。

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	・定期的な会報は発行していないが、必要な情報はLINEでお知らせしてきた。	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		○個人情報にあたる文書ファイルについては、鍵のかかる書庫にしまうようにしています。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		○難しい専門用語はできるだけ使わず、できるだけ平易な言葉で説明するよう心がけています。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・地域住民と交流する機会は今年度はなかった。	
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	2	・防災マニュアル、感染症予防マニュアルは新静岡校の入り口のおいてあるファイルに綴じてあります。誰でもいつでもご覧いただけます。	
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		○防災訓練は毎月実施しています。新静岡校の入り口に防災の掲示もしてあります。
④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		○アセスメントシートを使って情報を把握するようにしています。
④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6	・新静岡校のなかで食べ物を食べる機会はありません。	
④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		○ヒヤリハット事案については報告書を作成し、共有するようにしています。
④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		○定期的に虐待防止委員会を開催し、勉強する機会を設けています。
④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		○自傷他害など、万が一の身体拘束にあたるケースについては、個別支援計画にその文言を盛り込んでいます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名： あいあい新静岡校 保護者等数（児童数）： 0名 回収数： 0名 割合： 0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○	○	○	○		○新静岡校の児童発達支援は2023年10月1日にスタートしました。事業所評価を行った12月初めの時点で契約者はいません。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○	○	○	○		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○	○	○	○		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○	○	○	○		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○	○	○	○		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	○	○	○		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	○	○	○		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○	○	○	○		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	○	○		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○	○	○	○		

者 へ の 説 明 等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○	○	○	○		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	○	○	○	○		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○	○	○	○		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○	○	○	○		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○	○	○	○		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○	○	○	○		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○	○	○	○		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○	○	○	○		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○	○	○	○		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○	○	○	○		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○	○	○	○		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○	○	○	○		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○	○	○	○		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。